

昭和46年度管区気象研究会研究発表題目

気象庁では気象研究所ばかりでなく、全国の気象官署の研究者によって数多くの地道な調査研究発表が行なわれている。その成果は気象学や気象業務に多大の貢献をしているが、学会誌や気象庁刊行物に掲載される論文はその一部にすぎない。そこで、その全貌を展望し、今後の発展をはかるために、昨年度の研究発表題目を異委員がとりまとめた。

(天気編集委員会)

札幌管区気象台

道東地区		道南地区	
観測所の最高・最低気温の起日について	(雄武) 大久保源喜	苫小牧地方の雨に関する調査	(苫小牧) 佐藤 厚司 (〃) 生本 光二 (〃) 山崎 知保
十勝の農業と気温の分布	(帯広) 波佐 国夫 (〃) 梅津 衛 (〃) 田村 修一	冬期季節風下に津軽海峡に出現する線状エコーについて	(函館) 一木 明紀 (〃) 市沢 成介
海岸(網走)における気温の日変化	(網走) 後藤 修一	渡島檜山地方の大雪に関する総合調査(第一報: 季節風による降雪)	(函館) 菅谷 文夫 (〃) 近藤 政一 (〃) 小又 政義 (江差) 小池 清二 (森) 星野 祖
根室の気温におよぼす海水の影響	(根室) 辻 悦郎	檜山地方の大雪について(第1報)	(江差) 小池 清二
冬型気圧配置における北海道の日降水量の基礎調査	(糠平) 丑若 幸男	北海道駒ヶ岳の山雲について(第3報)	(函館) 本多 良治
北海道の南を通る低気圧に対する地点雨量の代表性	(釧路) 野上 孝治	最近15年間の主要海難について	(函館) 富岡 定男
網走の降水量について(統計報告)	(網走) 松下 登	渡島大島火山基礎調査報告	(函館) 嶺脇 実
広尾における SSE の風について	(広尾) 長井 道孝	室蘭の霧について(第2報)	(室蘭) 山内 義敬
十勝の北西の強風について	(帯広) 新谷 栄吉 (〃) 大久保 怜 (〃) 森戸 宏	昭和46年5月4日の室蘭の降雪および気温について	(室蘭) 菊地 正敏
メイストームの早期予想について(中間報告)	(釧路) 三本木 亮	胆振中部の大雨について(その2)	(室蘭) 若原 勝二
網走管内の天気について(第1報)	(北見) 畑 練一	総観のスケールからみた胆振の大雨	(室蘭) 山本 乾輔
上層寒気と根室の天気	(根室) 坂本 一美	道北地区	
帯広における気象要素の経年変化等について	(帯広) 村山 吉男	名寄における冬の気温分布と各地の最低気温出現時刻(第1報)	(名寄) 上田 豊治 (〃) 田島 義美
オホーツク近海の気象	(紋別) 笠井 勲	宗谷地方のSWの強風について(補遺)	(稚内) 三輪 健治 (〃) 上野 文夫
花咲港の異常潮位について	(根室) 鈴木 澄夫	枝幸のひかた風について	(北見) 前信 直義 (枝幸) 稲童丸 純
網走管内における林野火災について	(雄武) 林 勸次	羽幌と焼尻の風の比較調査について(第2報)	(羽幌) 宇津野 忠
昭和46年5月道東海域における小型さけます船の遭難	(釧路) 高井 武寿 (〃) 荒木関 力	宗谷地方の霧について	(稚内) 五十嵐光男
釧路地方の電線着雪について	(釧路) 杉中 誠一	名寄と旭川の天気	(名寄) 上田 豊治
等P差発震時差図による道東地方の震央決定について	(釧路) 横山 泰孝		
水蒸気拡散で成長する氷晶の形状の2次元モデルによる数値計算	(網走) 斎藤 優		

- 宗谷海峡及び南樺太近海の気象状態について (稚内) 技術課 昭和44年8月28日の小低気圧による南空知集中豪雨について (観測) 由田 建勝
- 宗谷湾における気象潮について (稚内) 桜庭 洋三 (小樽) 近松 定雄
(〃) 倉地 輝夫 (調査) 中島 尚
- ゾンデの異常上昇について (稚内) 安富 裕二
- D55Bの測定精度におよぼす地物の影響について (第2報) (稚内) 高層課
- FAX ヘリカル線汚れ落しの改良について (稚内) 五十嵐光夫 (千歳) 予報課
(〃) 下間 豊則 (観測) 里見 穂
(気研) 矢野 直 (名古屋) 村山 信彦
(気象庁) 長井 達夫 (〃) 本多 正
(観測) 今井 俊男
- 道央地区**
- 長都周辺の低温調査 (羽幌) 渡辺 義夫 (観測) 今井 俊男
(観測) 伊藤 正孝
- 寿都の気圧変化と日本海低気圧のコースについて (寿都) 高正 俊一 (観測) 今井 俊男
(〃) 遠藤 英樹 (予報) 山崎 道夫
(〃) 千島 昭司
- 雨量の定量的予想法 (予報) 小倉 士郎 (〃) 伊藤 正志 (観測) 久本 壮一
(〃) 伊藤 正志 (調査) 中岡 裕之 (千歳) 斎藤福三郎
- 後志地方の局地雨について (倶知安) 島崎 知行
- 地点雨量の代表性の調査 (総合報告) (調査) 中岡 裕之
- 空間線量(γ線)の変動 (観測) 今井 俊男
- 気候変動と北海道における冬の天候 (予報) 山崎 道夫
(〃) 千島 昭司
- 北海道で感じる地震 (観測) 久本 壮一
- 透過率計投光器・受光器の防雪フードの製作について (第2報) (千歳) 斎藤福三郎

仙台管区気象台

- 山形・秋田・青森地区**
- 八戸沿岸海上の波浪について (深浦) 石山 秋夫
- 遠隔自記検潮装置記録と海上波高について (八戸) 石横 昭吉
- 地形解析について (第1報) (秋田) 加藤甲子郎
- 気象衛星の受画について (青森) 村下 広蔵
- 鷹巣地方の霧について (第2報) (秋田) 宮腰 勝
- 火山の噴煙量と爆発振動エネルギーについて (秋田) 横本 公司
- 磁気テープ記録式地震観測装置による諸調査 (仙台) 仙台管区気象台技術部観測課
- 青函フェリー航路の欠航について (青森) 田中 喬
- 新庄と山形の天気の違い (冬期) (新庄) 菊地 陸
- 冬季観測される比較的雲頂の低い積雲について (秋田) 岡村 敏夫
- 秋田県における降雪の分布について (秋田) 佐藤善三郎
- 季節風の開始時期と庄内地方の天気について (酒田) 石山 耕一
- 八戸における視程の減少について (八戸) 佐藤留太郎
- 第3, 4次むつ湾特別観測について (青森) 伊藤 清吾
- て
- 1970年10月28~31日のレーダー・エコー解析 (秋田) 加藤 一靖
- 山形県の風について (冬期分) (山形) 横尾 強
- 相当温度による地上前線の検出 (秋田) 野瀬 純一
- 降雨量の確率的表現について (秋田) 佐々木耕造
- 小地域内における降雨分布特性 (仙台) 野口 和則
- 岩手・宮城・福島地区**
- 花巻空港の気象 (第5報) —10分間平均風速について(1)— (花巻) 多田 匡臣
- 宮古の最低気温の予想について (宮古) 富野 重夫
- 石巻測候所における風の代表性について (第1報) (石巻) 菅原 司
- 石巻湾の海況とかき幼生浮ゆう数の関係について (石巻) 加藤 吉男
- 農観用毛髪湿度計の最小値の平均誤差の推定について (仙台) 小林 善博
- 冬期の季節風時における降雪の予報について (仙航) 山田 秀男
- 季節風時のエコーについて (仙台) 浜田 忠正
- 東北地方太平洋側地域の大雨 (仙台) 山川 弘

集中豪雨について	(小名浜) 三崎 三雄	検潮記録による沿岸波浪の監視に	(宮古) 佐藤 義正
降雨型について	(若松) 海老名睦男	ついて一昭和46年1月16日~19	
	(〃) 沼田 富雄	日宮古の検潮記録に現われた三	
雨量警報器の試作	(盛岡) 東谷 平治	陸沖低気圧による高波一	
地震観測速報受信装置の作動状況	(仙台) 栗原 隆治	福島県小名浜地区の大気汚染につ	(福島) 酒井 一
について		いて(第2報海陸風との関係)	
磁気テープ記録式電磁地震計の記	(仙台) 星 啓介	長期予報的にみた昭和46年4月下	(仙台) 松倉 秀夫
録から規模を求めることにつ		旬~5月上旬の冷害について	
て(第1報)			

東京管区気象台

関東南部地区		伊豆大島における天水の利用につ	(大島) 野島 弘
諏訪湖の季節暦と初春季のSingu-	(館山) 中沢 初三	いて	
larity および“春の湖”の予報		千葉県東方近海の高潮について	(銚子) 角田 哲郎
千葉県の気流について(風の調査	(銚子) 三井 泉	(第2報)	
第2報)	(〃) 久保 勉	伊豆諸島における前線停滞と海面	(八丈) 関 達也
昭和45.7.1房総南部の大雨につ	(館山) 瀬川忠四郎	水温との関係について	
いて		熱収支と日中の気温変化	(三宅島) 修多羅英一
台風進路とたつまき	(東管) 荒 勝	気候表から任意の月別平均日数の	(東管) 安藤 隆夫
北西季節風時にできる関東地方の	(東航) 綾 一	推定方法について	
袋状の低圧部について	(〃) 渡辺 明	京葉臨海工業地帯の大気汚染(第	(八丈) 関 達也
羽田における摩擦層内の風の鉛直	(東航) 森 俊八	8報)——低層の立体構造につ	(千葉) 三谷 一郎
分布について		いて——	(〃) 桜井 恭二
ATS1号の雲写真による東太平洋	(東航) 神子 敏朗	京葉臨海工業地帯の大気汚染(第	(千葉) 麻生 肇
の亜熱帯じょう乱の解析		9報)——雨水に含まれるPH	(〃) 伊知地公彦
悪天候航空機搭乗気象調査報告	(東航) 村上 博	について——	
LOCAL MAP の客観的分類と	(東管) 巽 保夫	大気汚染機構の調査(第8報)	(横浜) 関 清宣
SYNOPTIC SCALE との関連		——高濃度OX発生気圧配置の	
(1)		特徴——	
重回帰式(選別法)による視程の	(東航) 岡本 利次	大気汚染機構の調査(第9報)	〃
予報	(〃) 樋本 孔八	——気温水温分布と大気汚染——	
	(〃) 野本 真一	大気汚染機構の調査(第10報)	〃
全日空機B-727の東京湾墜落時の	(東管) 中山 章	——OX濃度と被害の発生気象	
局地気象解析	(〃) 村木 彦磨	条件——	
中規模じょう乱周辺の運動学的諸	(東航) 青木 孝	大気汚染機構の調査(第11報)	〃
量の評価(第1報)		——SO ₂ とOX濃度との関係	
関東南部における地殻変動と大島	(千葉) 川崎 尚夫	について——	
の初動方向の偏りについて		関東北部地区	
八丈島の観測資料からみた地震活	(八丈) 宮本 泰男	水戸の有感地震と地震記象からみ	(水戸) 酒井 正吉
動域について	(〃) 富沢佑次郎	た震度階級の判定について	
	(〃) 中島 隆	栃木県の強風について	(宇都宮) 中島 只一
蒸気圧と風向の高度変化	(東管) 石田 泰治	秩父の風について(その3)	(秩父) 松島 馨

—地上気圧配置と風向—

埼玉県のたつまき、旋風について (熊谷) 松本 真澄
(第2報)

強雷、強雨に寄与する予想因子の (前橋) 内田 正昭
比較

榛名山周辺の降雨特性 (熊谷) 青木慶一郎

榛名山周辺の雷雨 (前橋) 井田 哲哉

電計資料と天気との関係 (水戸) 加藤 忠

埼玉県の天気のエントロピーにつ (熊谷) 星野 常雄
いて (第1報)

温風暖房装置運転による雑微動に (前橋) 大和 順一
ついて (第2報) (〃) 桜田 富世

谷川岳の夏の気象について (前橋) 茂木 和夫

測地発散 (metric div.) と測地渦 (宇都宮) 高横 正吾
度 (metric vor.) という呼称に
ついて

沼田の降雪について [1報] (前橋) 瀬下 伸二

通風式乾湿計の実験的研究 (宇都宮) 地迫 良一

最高最低平均気温と平均気温の差 (秩父) 松本 政治
について

注意報・警報の類型化について (宇都宮) 菊地 武徳

発動発電機の新しい防振装置につ (前橋) 大和 順一
いて (〃) 桜田 富世

鹿島の大气汚染調査について (そ (水戸) 宮本 英男
の1) (〃) 平賀 重夫

農作物の収量に及ぼす大气汚染の (熊谷) 星野 常雄
影響

甲信地区

甲府の上層風について (甲府) 増田 春衛

諏訪地方の風と雨について (諏訪) 武者 謙一

松本空港における西風について (松本) 宮内 民人
(〃) 内田 孝

諏訪盆地の風について (諏訪) 大月 公男

風の日変化について (甲府) 伊藤 正三

小規模じょう乱による大雪(降雪 (長野) 内山 文夫
量予報のための資料その3)

富士山にかかる笠雲、吊雲の統計 (河口湖) 湯山 生
的調査

τ₀の増加と気圧と気温の変動との (松本) 百瀬 秀雄
関係について

統計からみた富士山の出現度につ (河口湖) 平岩喜代志
いて

北陸地区

福井空港における定期便欠航と気 (福井) 星野 薫
象の関係

北高型気圧配置における敦賀の天 (敦賀) 富田 重雄
気について

冬期季節風吹き出し下のクラウドス (福井) 清水 喜充
トリート (〃) 猿横 増造
(〃) 川畑 仁
(〃) 原 武智

弥彦山レーダーによる各種高度観 (新潟) 丸山 昭次
測と異常電波伝播について

冬期のうずエコー (昭和43年2月 (福井) 西尾 厚治
9日の場合) (〃) 猿橋 増造

冬期日本海上に発生する点エコー (新潟) 佐藤 幸夫
群について (〃) 大滝 章義

啓風丸による観測結果と日本海上 (新潟) 久保田 効
の対流について (〃) 他

石川県の強風について (金沢) 竹内 昌明

新潟県上越地方の風の調査 (高田) 金子 信雄

山谷風について (第2報) (新潟) 鴨宮 亀保
(〃) 田沢 秀隆

有峰の山谷風について (富山) 舟田 久之

学校気象観測による富山県内の風 (富山) 太田 芳夫
と視程

新潟県の大气汚染と気象 (序報) (新潟) 増沢 昇

相川における季節風と上層のうず (相川) 鈴木 秀雄
度 (第2報)

強風時の場の構造 (第1報) (新潟) 中原 春雄
(〃) 荒井 浄

福井の最高、最低気温の予想 (福井) 野辺 哲男

局地気象異常低温調査 (続報) (富山) 笹倉 清吉

気温日較差と米の品質 (新潟) 津林 喜尚

冬期、北陸地方における高・低温 (新潟) 百瀬 悦也
期の予想について (富山) 佐藤 正夫

安定指数及び安定層の位置と冬の (金沢) 成田 吉政
雷について

総観場からみた石川県における冬 (福井) 佐藤 藤平
の雷について (〃) 松本 茂

福井地方の降雪の深さの予報 (福井) 中村 道輝

日降雪量の予測 (富山) 柴田 裕司

北陸地方予報作業指針について (新潟) 佐々木良一

東海地区

三重県地方の水収支 (津) 嶋田 義一

伊賀盆地の旱魃 (上野) 岡本 晟

北アルプス高瀬川上流域の降雨と流出について (岐阜)	正務 章	静岡における気温上昇(露点下降)現象について (静岡)	片山安三夫
雪崩予知のための融雪量の計算について (高山)	音石真治郎	国道156号線の強雨調査 (岐阜)	平光 一 (〃) 益川 修
低気圧による降雪の予報 (津)	磯野 金俊	昭和46年6月28日の岐阜県南東部の降ひょうについて (岐阜)	牧野 高吉
乗鞍岳の夏季における悪天候について (高山)	岩田 勲	大雨の指標としてのK-H図の試行結果について (津)	木戸 敏雄
台風転向時に現われる変形エコーについて (静岡)	安田 浩	1970年9月17日の四日市付近の大雨について (津)	園部 美尚
夏季雷雨予報の一方方法 (名古屋)	小楠 純一	浜松における海陸風 (浜松)	鈴木 一雄
赤潮の発生と冷水域について (津)	掛橋 勇	風向の変動幅について(浜松の海陸風調査) (浜松)	波多 正二
静岡県の港湾と高潮 (静岡)	天野 充	風向風速計の高さについての検討 (四日市測候所)	四日市測候所
名古屋港の異常潮位について(第2報) (名古屋)	桜木 敏二	名古屋空港における悪気象変動について(1)変動度のきめ方と統計 (名航)	船津 康二 (〃) 観測課
定常断熱解析法について (静岡)	三浦 武重		
富士市付近の強風について (静岡)	安田 浩 (〃) 鈴木乙一郎		

大阪管区気象台

近畿地区

1958年代と最近の視程について (大阪)	岡林 昌弘	移転による大阪の気温と観測値の接続の問題(その2) (大阪)	福森 秀男
日射,日照,視程などの変動について(第1報) (奈良)	船越 帝志	冬季伊吹山における温度隔測試験について (伊吹山)	伊吹山測候所
洲本における視程障害 (洲本)	中谷 克己	光電式水色計(波長別水中照度計)の試作 (神戸)	神戸 正雄 (〃) 堀 王佑 (京都学院大) 渡辺貫太郎
大気汚染の基礎調査—(気圧配置と地域差について11月)— (大阪)	久保 明弘	海況と潮位の関係について (舞鶴)	谷岡 克己
大気汚染の基礎調査—(主として接地层の安定性の利用について)— (大阪)	市川 清見	寒冷前線におよぼす海水温の影響について (潮岬)	小山 幸男
大気汚染の基礎調査—(主として風11月) (大阪)	福原 賢治	京都府北部の積雪予報 (舞鶴)	三宅 昇
和歌山の大气汚染について(第6報) (和歌山)	松尾喜代子	中規模じょう乱に伴う大雪 (彦根)	滝野 一郎
航空機による観測報告 (大阪)	上田 君雄	大阪地方の雪 (大阪)	合田 勲
(〃) (〃)	堀口 泰三	滋賀県内の弱風の調査(第1報) (彦根)	児玉 良三
(〃) (〃)	西田 宗隆	奈良県の風(流线分布)について(第1報) (奈良)	岸谷 至教 (〃) 大西 慶市
(〃) (〃)	橋本 博	2重フーリエおよび最小2乗法などによる500mb半旬パターン分類とその予想の試み (大阪)	加藤 政勝
(大阪)	成川 二郎	電計資料の利用について (京都)	柳本 三治
(〃) (〃)	伊藤 正幸	低気圧の発達について (京都)	勝井 辰宣
(大阪)	佐藤 久	重点業務「大雨ワークシート」 (彦根)	彦根技術課
(豊岡)	土高 茂	京都市災害予想図の作成 (京都)	堀竹 昌治

中国地区		島根県の雪の子想について	(松江)	新納 忠寿	
シーロメーターの遠隔制御回路の改良	(広島 航空)	松谷 武司	(〃)	斉藤 卓己	
台風による広島空港の風について	(広島 航空)	丸本 一雄 中田 隆一	広島県の降雪予報に対する予備調査	(広島)	太田 盛三
隠岐空港における乱流調査	(西郷)	島田 彦市	山陰大雪の解析	(広島)	竹内 勤
海陸風の研究	(広島)	井野 英雄	四国地区		
呉市の大気汚染(第3報)	(〃)	根山 芳晴	アノマリーからみた春の悪天	(高松)	田中 勝
広島での最低気温の予想について(その2)	(呉)	豊島 守	土佐沖低気圧に関する前駆現象	(高松)	田中 勝
	(〃)	足羽栄之進	平均帯状循環からみた梅雨前線の南北振動について	(高松)	掛川 信良
岡山市内の気温について	(岡山)	石丸順一郎	梅雨期の100mb天気図の特性について	(高松)	住田 巖
津山地方の雷とその予報について	(津山)	齊藤 茂	室戸岬における山上と山麓の海面気圧の比較について	(室戸岬)	細居 善一
浜田の脈動	(浜田)	真野 幸男	隔測気温、露点計、百葉箱(乾湿球日記)およびアスマン温度計測定	(清水)	田中 貴一
浜田における沿岸波浪と脈動について(第1報)	(浜田)	河野 俊雄	測定の気温、湿度などの特徴と比較についての問題点		
島根県の天気のエントロピーについて	(松江)	北村 進	足摺における日照時間、日射量、雲量の相関関係について	(清水)	阿部 勝宏
夏から秋にかけての循環場の特徴	(広島)	浜田 周作	足摺半島の風(第2報)	(清水)	田中 貴一
モンスーン・アジアにおける降水量の経月変化の特性—上層気温変化場との関連—	(広島)	根山 芳晴	台風7010号地内の海上風	(高知)	後藤大喜夫
台風と岡山県の雨について	(岡山)	江尻 勲	(〃)	沢本 弘志	
秋りんの周期(第2報)	(呉)	京 格	台風の最悪コースについて	(多度津)	岡田 勝
中国地方における梅雨期の強雨の総観解析	(広島)	来海 徹一	高知県沿岸の潮位解析と土佐清水の高潮予想式	(高知)	高知防災業務課
三次の霧について(第2報)	(広島)	木戸岩之助	(清水)	清水測候所	
鳥取県における降雪量の予想	(米子)	稲葉 優	宇和島の高潮について	(宇和島)	川谷 献一
	(〃)	渡辺 芳孝	梅雨期における愛媛県の雨期予報	(松山)	大島 正三
鳥取県における半旬期間の降雪予想(米子)	(〃)	越智 暲	徳島県地方大雨時の地上天気図分類について	(徳島)	工藤 良平
			昭和46年夏季の四国南東部局地豪雨について	(高松)	出水 雅善

福岡管区気象台

関門地区の風の特性について	(下関)	利光 貞夫	飯塚の気象特性について	(飯塚)	最所 力
	(〃)	木村 元彦	新大分空港の風について	(大分 空港)	倉田 健男
	(〃)	小野 義人	見島の風の特性について	(萩)	中村 英夫
	(〃)	椎木 基	35日周期について	(福岡 航空)	奥山 巖
関釜航路における風と波浪に関する研究(第2報)	(下関)	森山 康正	ラグ相関を用いて長期予報における	(福岡)	藤元 囿夫
	(〃)	永山 盛善			

- る 500mb 予想天気図を求める方法
- 大分県の地形による降雨の特性について (大分) 山形 英雄 (〃) 久下 明治
- 下関の 대기汚染と悪視程について (下関) 伊藤 宗三 (〃) 喜根井隆彦 (〃) 田中 敏雄 (〃) 重長 槌昭 (福岡) 前田 宏
- 積算透過率について (福岡) 前田 宏
- 大分市の 대기汚染について (大分) 服部 徳一
- RS II 56 研ラジオゾンデのペン振れ防止試作試験 (福岡) 折口 忠夫
- 67型地震観測装置で観測した九州付近の地震について (福岡) 広森 章
- 震度と強震計象との関係について (福岡) 清水 邦夫
- 1970年7月26日の宮崎県沖地震の調査報告 (福岡) 橋本 春次
- 名瀬の風と本茶の風 (福岡航空) 岡田 成徳 (名瀬) 山田 修造
- 下関の霧について (下関) 田中 敏雄
- 東シナ海で急速に発達する低気圧について (とくに上層ジェット解析) (福岡) 長浜 宗政
- 対流圏中, 下層にあらわれた乾燥域について (1970年6月下旬の集中豪雨の解析) (福岡) 笠村 幸雄 (福岡航空) 黒岩 信久
- 上空エコーの調査 (第1報) (福岡) 豊丸 秀仁 (〃) 前田 宏 (〃) 今門 宗夫
- 1971年1月, 2月に観測された渦状エコーについて (福岡) 菊池 昌宏
- 上層風とエコーパターンについて (福岡) 平野 博
- レーダーによる降雨強度の観測について (第1報) (福岡) 観測課・調査グループ
- 雲核の地域的分布の研究 (下関) 内田 英治
- 隔測温湿度計に対する定常同時観測用器に伴う問題点の検討 (長崎海洋気象台測候課)
- 福江における冬季の季節風 (福江) 花宮 廣務
- 牛深における台風通過時の風速変化について (牛深) 松田 一成
- 福江空港における冬のクロスウイ上層風による奄美地方の季節分類 (福岡) 山野 道雄 (名瀬) 山本 昇
- ソンドとガスについて
- 最高気温の予想 (熊本) 尾上 幸喜
- 1970年8月14日~15日, 台風第9号に伴う有明海の異常潮位について (佐賀) 早田 正美 (〃) 塩田 靖雄
- 熊本県における1969年梅雨末期の大雨について (熊本) 大坪 敏
- 日本海西部に発生する低気圧による福江の降雨の有無について (福江) 釜我 清
- 平戸の北東風について (平戸) 緒川 弘甫
- 寒冷前線に伴う強雨について (福江) 田尻 道信
- 1969年(昭和44年)7月上旬における壱岐対馬の大雨について (敵原) 中西 弘 (〃) 尾崎 康一
- 対馬における局地的な突風に関する研究 (第1報) (敵原) 尾崎 康一 (〃) 久永八州夫
- 熊本県の雨(温暖前線による)について (熊本) 浦川 武雄
- 低気圧の発生と経路予想に対するT850 (T-Td) 850 プログノの効果について (長崎海洋) 浅田 剛
- 球磨川上流の地域雨量と水位 (人吉) 城田 三郎
- 1961~1970年の佐賀県の気象災害について (佐賀) 鳥越 準
- 熊本市における 대기汚染のための基礎調査 (熊本) 上城 一市
- 特区資料から判断する佐世保の天気特性 (佐世保) 山田 貢
- 阿蘇火山爆発と前駆現象 (阿蘇山) 稲垣 豊秋 (〃) 高橋 計
- 阿蘇山の火山性孤立型微動の旬間発生回数の異常 (阿蘇山) 池田 安彦
- 阿蘇火山爆発時の気象状態 (阿蘇山) 長野 敏郎
- 雲仙岳付近の地震について (第3報) (副因とみられる気圧傾度の走向との関係について) (雲仙岳) 志賀 正信 (〃) 西田 耕造
- 桜島火山活動考察(大正3年(1914年)大爆発前の鹿児島地方の地震状況について) (鹿児島) 木下 正時
- A型地震の震源変化と火山活動との関係 (鹿児島) 永副 順則
- 桜島火山におけるB型地震震源域の検討 (鹿児島) 吉留 道哉
- 波浪計算についての2, 3の調査 (長崎海洋) 明戸 謙

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------|--|
| 1901年から1970年までの九州・山口県地方の気候変動について | (〃) 亀 一彦
(宮崎) 小島 隆義 | 星久島における天気分布について (屋久島) 正木 史一
(〃) 鞆 明義 |
| 昨冬の循環特性について | (鹿児島) 高崎 洋見 | 下層偏東風による宮崎県の大雨に
ついてその1—北高型による秋
の大雨 |
| 九州南部地方の降ひょう予想 | (鹿児島) 鈴木 宗徳
(〃) 水元 是清 | 鹿児島の上層風と宮崎県の降雨に
ついて |
| 雷の予想について | (鹿児島) 鈴木 文夫 | 台風の経路別による宮崎県の降雨
の特性 |
| 機上観測による低気圧について | (鹿児島) 内匠 裕芳
(航空) | 台風時の雨と風のメソ気候
宮崎市の雨と雷の特異性 |
| 台風の進路予想法 | (鹿児島) 藤井 辰男 | 九州の雨の日変化と降雨機構
宮崎県の雨の日変化と降雨機構 |
| 大気汚染の気象条件 | (宮崎) 山田 三朗 | 取束量と地形および海水温などか
らみた宮崎県の降雨機構 |
| アメ01, アメ03における各ロボットの降雨状況について | (鹿児島) 井上 隆
(〃) 広田 義則 | 1970年奄美大島付近の地震活動 |
| 昭和46年2月22日の枕崎の大雨解析 | (鹿児島) 草宮 一郎 | 福岡管区気象台
鹿児島地方気象台
名瀬測候所 |
| シークラッターと海面状態(風・波)について | (名瀬) 迫田 正大
(〃) 窪田 光頭 | |
| Outer Band からみた台風の動きについて | (種子島) 落水 敏秀 | |
| 桜島における地磁気水平分力の変動について | (鹿屋地磁気) 永井 正男 | |